

東広島 ブックデビュー



東広島に生まれてきてくれたあかちゃんが、これから生きていく上で欠かせない「ことば」に、まず、人のぬくもりの中で出会って欲しいと願う人々が連帯する活動です。

「ことば」の蔵とも言える絵本や図書館を手がかりとして、様々な社会的子育て支援事業と結合しながら、あかちゃんの「ことば」の獲得を手助けする事業です。

活動窓口

東広島市教育委員会生涯学習部生涯学習課
TEL 082 (420) 0979 FAX 082 (422) 1610

ブックデビュー

ブック=ことば（外との交流）

ことば=自己表現と他者理解のためのツール

あかちゃん にとって・・・

- ・しぐさや目線、声などで伝え合う体験
- ・基本的信頼感の育み
- ・いろんなことばをたくさんきいて・蓄えて

- ・あかちゃんを観る力
- ・子育てのたのしみ、自信に
- ・絵本タイムでリフレッシュ

保護者にとって・・・

- ・地域の中での人と人とのつながり
- ・地域で学んで地域で活かして

地域にとって・・・



ブックデビューで大切にすること

- ① あかちゃんの様子を見ながらことばがけを
- ② 成果を急いで求めない
- ③ あかちゃん一人ひとりの成長にあわせた手助けを
- ④ 絵本などを使って楽しみながら
- ⑤ お腹の中のあかちゃんにも
- ⑥ 支援者としての関わりを

東広島のブックデビュー推進活動

これまで...

ボランティア団体による、乳幼児健診会場での絵本の紹介や読み聞かせなどの活動や図書館による、あかちゃん向けのおはなし会などあかちゃんと絵本をつなぐ活動を行ってきました。

2018年、広島県教育委員会が「あかちゃんへことばのプレゼント」（家庭教育啓発資料）を作成しました。

市や図書館は、ことばを添えて、この冊子を配布しています。



2019年6月、ブックデビュー推進活動事業のスタートとして、この冊子の編集を監修された、今井むつみさんに、なぜ、あかちゃんへのことばがけや絵本の読み聞かせが大切であるのかについてお話を聞きました。

大人ができることは、ことばを「教える」ことではなく、「発見」の手助けをすること。あかちゃんの様子に合わせてやりとりを楽しみながら、たくさん言葉をかけることで、あかちゃんに「ことばの力」が蓄えられていきます。（もう少し詳しく知りたい方には『親子で育てることば力と思考力』今井むつみ/著 筑摩書房 2020年がおおすすめです。）

東広島市では、2019年から本格的にブックデビューの推進に取り組んでおり、ブックデビュー推進会議で企画した講演会などを実施しています。

～地域の主なブックデビューの展開の場～

地域すくすくサポート
（東広島版ネウボラ）



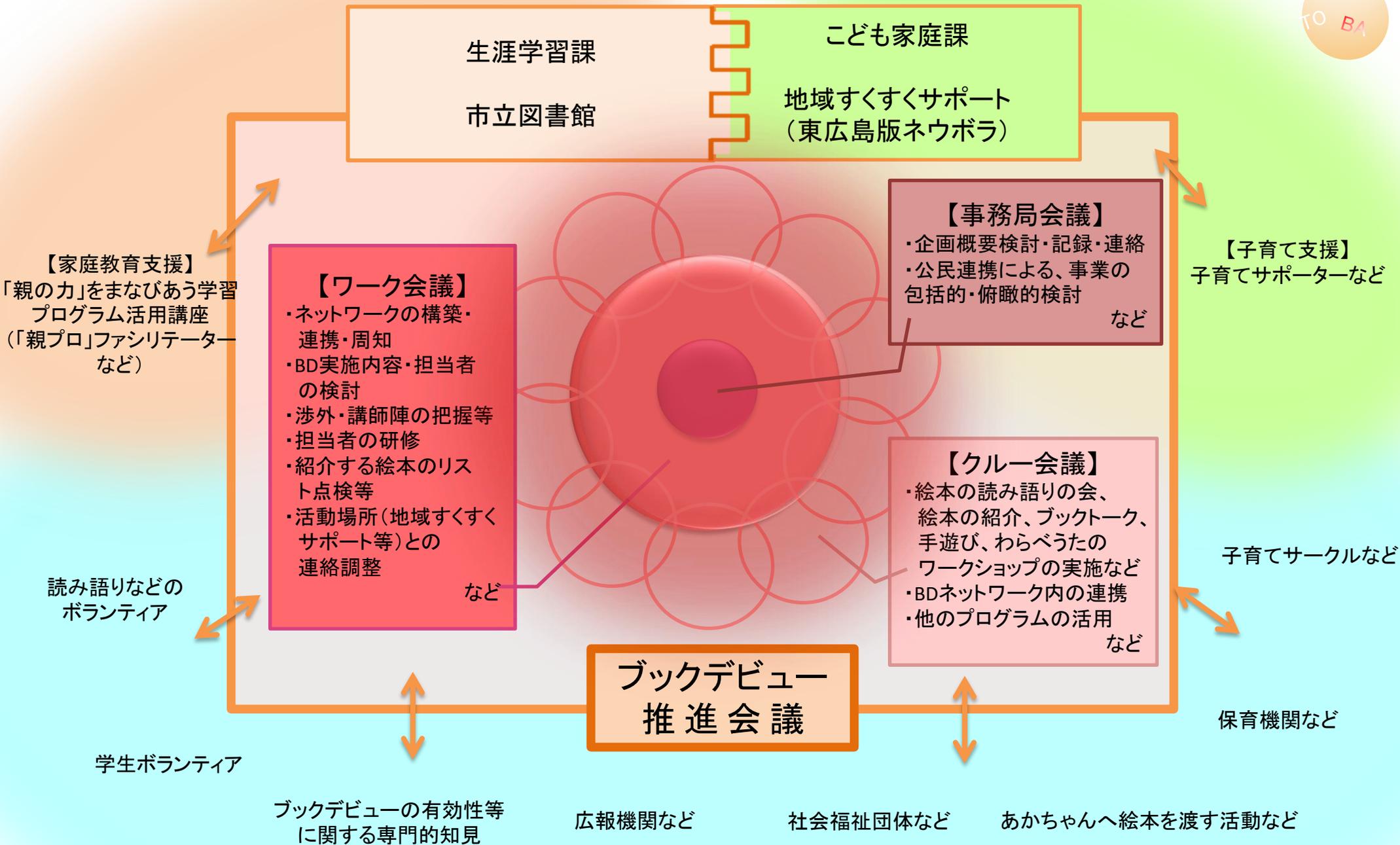
東広島市立図書館

妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援をするために、令和元年度、市内10か所すべての地域にオープンしました。専門スタッフに子育ての様々な不安や悩み、聞いてみたいことを相談することができる、地域の子育て支援の場です。

市内7館、絵本コーナーの他に、親子で参加できる行事もあります。日々のことばがけに絵本はとても便利。親子で楽しめる絵本探しをお手伝いします。

胎児や乳児の、お父さんお母さんが実際に読み聞かせを体験したり、あかちゃんへのことばがけや親子のコミュニケーションの重要性を体感するブックデビューを展開する重要な場でもあります。

東広島ブックデビュー 構想図



多様な社会資源との連携